

知事コメント

- 令和7年の本県における人口の自然増減数は△8,127人と、令和6年の△8,331人から減少幅が縮小した。その要因は死亡数の減少によるものであるが、全国に先行して高齢化が進んでいる本県において、この自然減による総人口の減少は今後も避けられないものと認識している。
- 令和7年の出生数は3,079人と、過去最少となった令和6年の3,108人からさらに減少した。
また、今後の出生数に影響を与える婚姻件数について、令和6年はコロナ禍後の人々の交流の活発化などにより前年から増加(2,071件)したが、令和7年は1,951件と再び減少に転じた。
- 一方で、出生数は過去最少を更新したものの、その減少幅はここ数年と比べて縮小したほか、社会減も前年から改善するなど、明るい兆しが見られる。
- 本年度は、こうした明るい兆しをより確かなものとするため、「元気な未来創造戦略」に基づく取り組みについて、「高付加価値型経済への転換」による若者を中心とした所得向上と、働き方改革による「多様な人材が活躍できる環境の実現」の2つの柱で強化した。
これらの取り組みにより、若者の定着を通じた社会減の改善、そして結婚や出産を希望する若者を後押しすることによる自然減の改善につなげていく。
- 加えて、婚姻件数の増加に向けては、新たに、マッチングアプリを運営する企業と連携し、アプリ利用料に対する助成制度を設けるとともに、100人規模の参加者を一堂に集めた大規模恋活イベントを開催するなど、出会いの機会のさらなる創出を図る。
- また、これらの施策がより一層の効果を発揮するためには、市町村や事業者の方々とベクトルを合わせて取り組むことが不可欠。このため、今までより一歩も二歩も踏み込んで官民連携を深化させ、「オール高知」の体制で若者や女性に選ばれる高知の実現を目指す。